

2020/1/21

Hiroshi Matsumoto – President of RIKEN

国立研究開発法人
イノベーション戦略会議



理化学研究所

①2030/2050年における理研の役割：日本最先端の科学基盤

危機とは、
それ自体否定的な要素であるといえるが、

同時に**危機**の背景には
現状に問題点があることをも示唆。

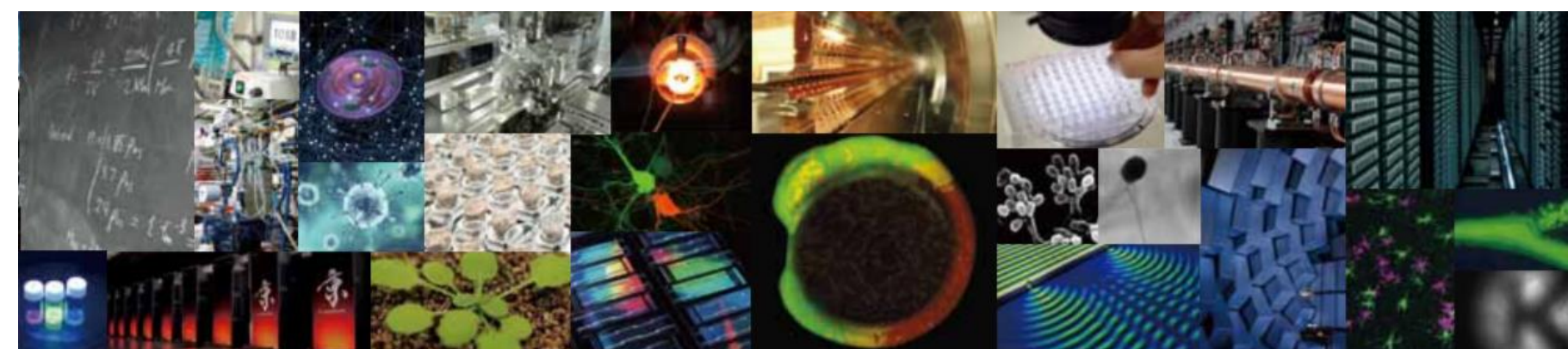
*日本大百科全書(ニッポニカ)の解説を引用・改変

科学技術の力で
ソリューションを示し
日本は世界で一番、
世の中を良くすることに
貢献する国へ

理研は1917年の創設時から産業発展のための
科学研究と応用研究を目的としてきた。

その根幹はこれからの100年も不変。

量子コンピュータの実現や
文理融合した複雑な社会シミュレーションに
必須であるスパコン等の**科学基盤**、
人文科学も取り込んだ真の総合科学研究所として
日本最高峰の研究環境・人材を糾合する
知識・知恵の基盤として我が国を支え続ける。

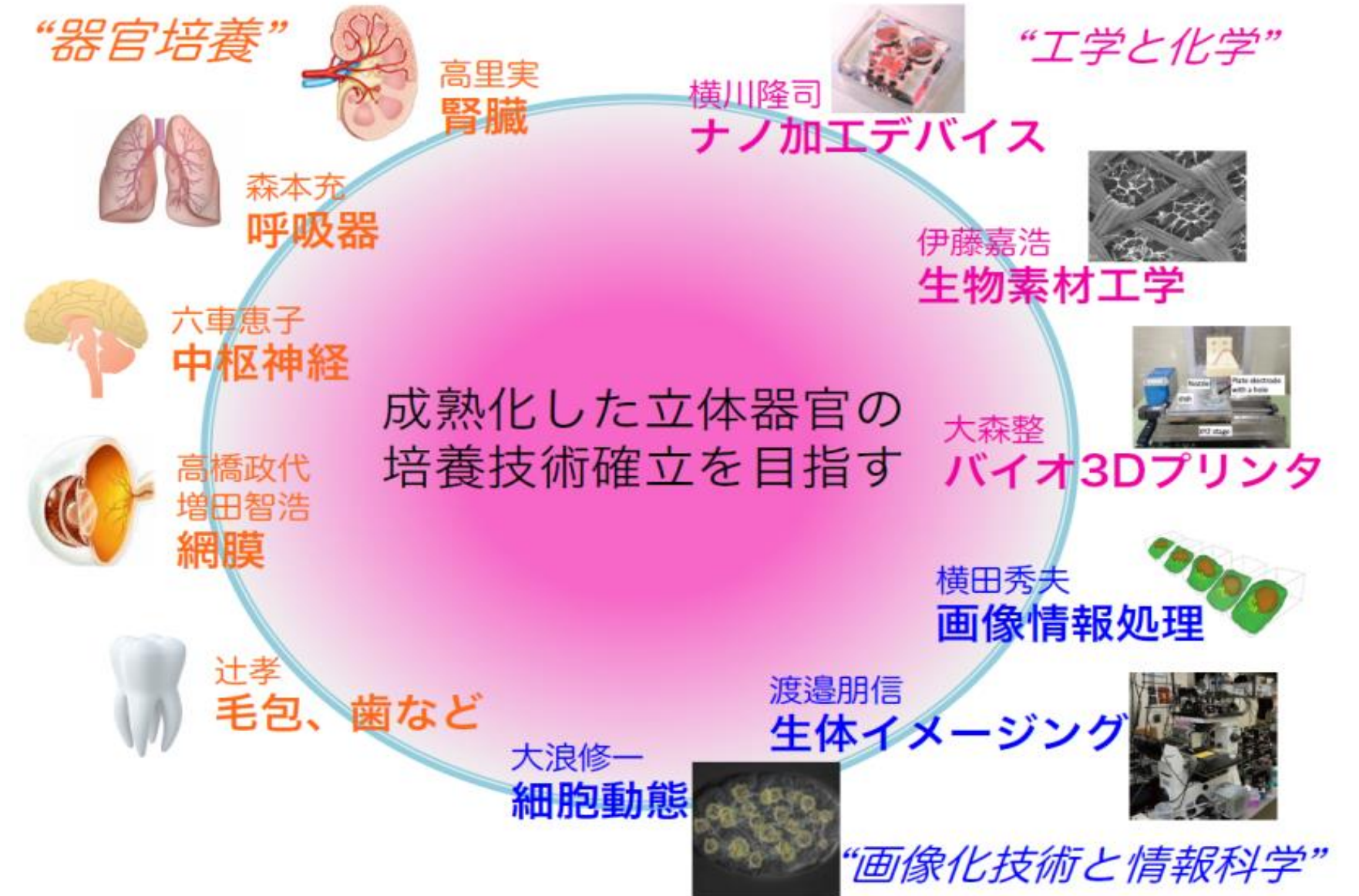


②異分野融合や新研究領域開拓のための取組：ENW形成

理研の工学復興を目的に全研究者が自由に
参加可能なエンジニアリングネットワーク(ENW)
を形成。**基礎から実用化へつなげる
エンジニアリング研究を推進**することで、
Society 5.0の実現、
持続可能な開発目標(SDGs)の達成、などの
社会課題の解決に貢献すると共に異分野連携に
よる新たな研究分野の創出を目指す。



プロジェクト一例
オルガノイド：
次世代型のデザインド立体器官
培養エンジニアリング



③研究力強化策の一例：人事制度改革

理研は任期制の研究系職員が多く
安定的に研究を行う環境にない。
流動性と安定性の双方を兼ね備えた新たな研究人事制度の整備を推進

任期制研究職員の任期の見直し

多くの研究センターでは任期が5年。

7年とすることで落ち着いて研究
できるよう措置

無期雇用制度の導入

厳正な審査を経て**無期雇用職(60才定年)**
として登用する長期安定型人事制度を創設
将来的には**長期雇用の割合を4割、**
任期付雇用を6割に ＊現状は約1:9

＊新たな基軸での研究者評価にもチャレンジ

理研白眉制度により
並外れた能力を持つ若手研究者に
PIとして独立して研究する機会を提供。

- 研究分野：数理科学を含む自然科学全般、
及び人文社会科学との境界領域。
- 応募資格：博士号の有無不問
- 任期：最大7年
- 研究費：1,000～4,000万円/年
- ※H30年度は**女性限定公募(加藤セチプログラム)**開始



学生からポスドク、独立した研究者・若手PIに至る支援
(大学院生RA等→基礎科学特別研究員等→理研白眉)

⑥研究成果を産業・社会に繋ぐ方策



2019年9月に理研100%出資により設立。

鼎とは中国古代の三本足の祭器。経営・技術・社会貢献の三つを基軸とする

1. 理研の研究成果をいち早く社会的価値に還元する方策の実施
 2. 産業界との「組織」対「組織」の連携の促進
 3. 多様な収入源の確保による理研の財務基盤の強化、新たな研究資金の確保による研究活動の充実
- 等を推進しイノベーション創出を推進

2019年10月にドイツ・バイエル社とイノベーションの共創を目的としたパートナーシップ契約(共創契約)を締結
その他、複数企業と共創契約について具体的な協議中

